

監査第50号  
令和7年1月10日

|         |         |
|---------|---------|
| 山口市監査委員 | 馬 越 帝 介 |
| 同       | 石 高 雅 美 |
| 同       | 宮 崎 高 行 |

## 令和6年度工事監査の結果について

地方自治法第199条第5項の規定に基づき工事監査を実施しましたので、同条第9項の規定によりその結果を報告します。

### 1 監査の対象

山口市新本庁舎棟新築工事

### 2 監査の期間

令和6年7月29日から令和6年12月25日

(現場調査日 令和6年10月11日)

### 3 監査の目的

本市が実施した公共工事が、計画、設計、積算、施工等の各段階において、技術面等からみて適正、適法かつ合理的に行われているか、また、経済的に妥当なものであるかに主眼をおいて監査を実施し、監査結果を今後の公共工事に活かすことを目的とした。

### 4 監査の方法

監査に当たっては、山口市監査委員監査基準に準拠し、当該工事に係る関係書類の提出を求め、関係職員の説明を聴取するとともに、現場検分を行い、施工状況等の調査を実施した。

なお、専門的、技術的見地に立って監査を行うため、「特定非営利活動法人 西日本建設技術ネット」に工事技術調査を委託し、技術士の派遣を得て実施した。

## 5 工事の概要

現在の山口市役所本庁舎は、建築から50年以上が経過し、建物の老朽化をはじめ様々な課題を抱えていることから、総合的な行政サービス機能と、防災・災害対策機能を併せ持つ拠点施設として新本庁舎の整備を行っているものである。

『白い鐘塔に佇む、ひと・まち・未来にやさしい市民の丘』を基本理念として設計され、限られた敷地面積における工事として新本庁舎棟新築を第1期工事、市民交流棟ほかを第2期工事に分けて施工している。

国が掲げる脱炭素社会に向けた取組に対応し、従来の建物と比べて必要な一次エネルギー消費量の50%以上の削減を達成する「ZEB Ready」の認証を取得している。

### 山口市新本庁舎棟新築工事

- ・工事場所 山口市亀山町地内
- ・工 期 令和5年3月20日から令和7年3月14日(予定)
- ・請負金額 (当 初)8,547,000,000円(税込み)  
(変更後)8,634,640,300円(税込み)
- ・工事概要 敷地面積: 21,496.75 m<sup>2</sup>  
建築面積: 3,697.65 m<sup>2</sup>  
延床面積: 24,129.11 m<sup>2</sup>  
構造:鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造(免震構造)  
階数:地上6階、地下1階

## 6 監査の結果

工事関係書類は、いずれも適切に整備されており、技術調査の結果においても評価すべき点が随所に見られ、適正であると認められた。

引き続き、現場内の事故防止はもとより、周辺への安全管理の徹底に努められるとともに、丁寧かつ着実に工事を進められたい。新本庁舎の建設により、来庁者の利便性の向上や行政サービスの充実が図られ、市民の暮らしを守り、支える行政拠点としての機能が一層高められることを期待する。

今後も、本市発注の全ての公共工事において、適正な品質確保及び適切な施工管理を実施され、工事の安全対策に万全を期すよう努められたい。